

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法概論Ⅰ		講義	鮫島 一雄	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
本講義は皆さんが目標としている理学療法士になるための海図のようなものです。この科目の目的は理学療法および理学療法士とは何なのかを知りさらに理解し、自分自身の理想とする理学療法・理学療法士像を考えることができるようになることです。授業では、理学療法の概略を説明し、これから学んでいく科目を具体的に説明します。しかし船を動かすのは皆さんです。各自の自主性が大切です。				
授業の到達目標				
・医学用語を読むことができる ・理学療法の専門用語を知る ・理学療法士の法律と関連法規を理解する ・理学療法士の現状を知る ・理学療法士の資質面の重要性を知る ・理学療法業務を知る ・基礎医学の必要性を知る ・臨床医学の必要性を知る ・個人情報保護、コンプライアンスについて理解する ・理学療法教育を理解する				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション		基本用語1-5	
2	PTOT法1 医療法、定義		基本用語6-10	
3	PTOT法2 医師の指示、医師法		基本用語11-20	
4	PTOT法3 名称独占、業務独占		基本用語21-30	
5	PTOT法4 国家試験、免許、開業権		基本用語31-40	
6	PTOT法5 登録理学療法士		基本用語41-50	
7	PTOT法6 秘密遵守、医療行為		基本用語51-60	
8	PTOT法7 理学療法の職域、職能		基本用語61-70	
9	各病期の理学療法の意義、目的		基本用語71-80	
10	理学療法とリハビリテーション		基本用語81-90	
11	医療倫理と理学療法倫理		基本用語91-100	
12	PTOT法と関連職種の資格法との関係			
13	コンプライアンス（法令遵守）とは			
14	理学療法および理学療法士の現状と課題			
15	理学療法教育、医療職に必要な資質 まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%	試験内容は、小テストに準じる。		
レポート・課題		提出状況。		
小テスト		授業中に11回実施。		
平常点		授業参加状況等。		
その他				
自由記載	課題・小テストで70点以上の場合は、筆記試験を免除する。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
理学療法概論テキスト 第4版		監修 細田多穂	南江堂	
理学療法概論ⅠⅡ 32期生資料		担当教員作成分		
自由記載	中学・高校等で使用した国語辞典・漢和辞典・英和辞典又は電子辞書を授業中使用する。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				